

## 事業の概要

「イサクおひさまプロジェクト」は、社会福祉法人同協会イサク事業所どうほうの家と認定NPO法人きょうとグリーンファンドが連携し、多くの地域住民や一般市民の参加・協力で、宇治市にある「イサク事業所どうほうの家」に、太陽光発電設備を設置したプロジェクトです。

事業費は、市民からの寄付金ときょうとグリーンファンドの「おひさま基金」で賄われました。

設置後は、イサク事業所どうほうの家が環境に配慮した施設となるよう、きょうとグリーンファンドも協力して取組を進めています。

後援：京都府、宇治市、京都府地球温暖化防止活動推進センター、宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議 (ecoット宇治)、特定非営利活動法人 KES 環境機構

協力：認定NPO法人気候ネットワーク、認定NPO法人環境市民

## 発電所データ

設置場所：社会福祉法人同協会  
イサク事業所どうほうの家

設置日：2015年2月20日

発電能力：10.08kW

発電量：約10,000kWh/年

総事業費：約483万円

寄付額：41万円 (71件)

寄付募集期間：2014年12月15日～2015年4月10日

## 社会福祉法人 同協会 イサク事業所 どうほうの家

社会福祉法人同協会イサク事業所どうほうの家は、平成24年7月に宇治に生まれたまだ新しい事業所です。「あなたの〇〇たい。をかたちに・・・」を理念に地域で暮らす障がい者が住み慣れた土地でそれぞれの自立した生活を営んでいく、その「持続的な原資となれる事業所」になりたいと考えています。就労移行と就労継続B型、就労継続A型を行い、それぞれの障がい特性を生かし農業、床の宿 Rigoletto (生産野菜をいかした様々な加工品の製造・販売、ランチ、Cafe) を通じて働くことを主軸とした事業を行い、就労時間や勤務体系など一般の企業により近い就労環境を作っています。またすべてにおいて農薬や食品添加物等を一切使用しない商品作りを心掛けています。(平成26年8月有機JAS認証取得)

この度、自然に過剰な負担をかけずに共存していくという方向性を持った「おひさま発電所づくり」に取り組むことにより、障がい者が社会の一員として同じように頑張っている姿をたくさんの方に知っていただけたら、と思っています。

## 認定NPO法人 きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは、省エネ型の社会と暮らしをめざし、自然エネルギーの普及に取り組んできました。寄付を積み立てた「おひさま基金」を活かし、多くの方々と協力して、環境に配慮した地域づくりの拠点となる「おひさま発電所」を広げていきたいと、これからも活動を続けていきます。2015年3月までに18カ所のおひさま発電所ができました。



社会福祉法人 同協会  
イサク事業所 どうほうの家

〒611-0043 京都府宇治市伊勢田町毛語 149-4  
TEL: 0774-21-0139  
FAX: 0774-43-0039  
URL: <http://www.isaku-d.jp/>

特定非営利活動法人(認定NPO法人)  
きょうとグリーンファンド

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角塚町 21 番地  
事務機のウエダビル 206  
TEL・FAX: 075-352-9150  
E-mail: [info@kyoto-gf.org](mailto:info@kyoto-gf.org)  
URL: <http://www.kyoto-gf.org>

2015年5月発行

2015年2月20日

おひさま  
発電所  
ができました!!

イサク  
事業所



イサクおひさまプロジェクト



社会福祉法人 同胞会 どうぼうの家

施設長 石崎 蓉子

この度、多くの皆様のご支援ご協力により、イサク事業所がおひさま発電所となることができました。ご協力くださった皆様に、篤く御礼申し上げます。

宇治市では初めてのおひさま発電所となり、また障害者施設としても初めて、ということで、大変光栄に思いますし、このような機会が与えられたことを、とても感謝しています。

さて、イサク事業所では、日頃から自然に触れながら仕事をしています。自然エネルギーの素晴らしさを実感していますし、その自然エネルギーを守っていき、後世に残していけるように、私達も少しずつでも確実な努力を続けて行けたらと思っています。今回のこの取組が、その第一歩となったのではないかと思います。今後も、イサク事業所が地域に根差した優しい事業所となれるように、努力してまいります。

ご協力くださった皆様、本当にありがとうございます。

認定 NPO 法人 きょうとグリーンファンド

理事長 板倉 豊

イサクおひさま発電所の完成、まことにおめでとうございます。

認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドは、2000 年から活動を始め、おひさま発電所をつくるお手伝いをしてきました。イサク事業所は、18 番目のおひさま発電所となりますが、宇治市では初めてとなります。

このところの激しい気候変動は、確実に私たちの生活に影響をおよぼしていますし、その原因が他ならぬ私たち人間の活動にあるということも、はっきりしてきました。私たちの暮らしが地球の未来に関わるといことになり。また、福島第一原発事故以降、多くの人々が原発に依存する暮らしに不安や疑問を感じるようになりました。

私たちが身近な地域の施設におひさま発電所をつくるのは、みなさまと共に地球環境やエネルギーのことを考え、未来につながる地域づくりができればと思っています。

これからも、イサク事業所が地域の拠点として、おひさまプロジェクトの思いを地域に発信していけますよう、私どももお手伝いを続けていきたいと思います。今後ともみなさまのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

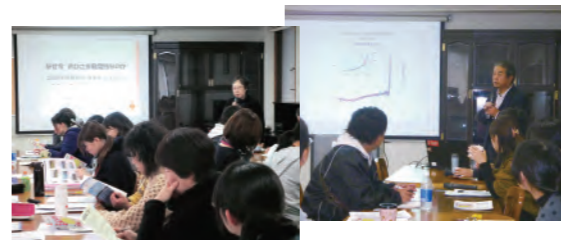
発電所つくり START!!



宇治田原にある「コヘレト農園どうぼうの家3」、障害をもつ仲間と共に働く農の場です。ここにも自然エネルギー活用の可能性がありそうです。



イサク事業所の屋上、太陽光発電にはうってつけ、さて何 kW つけられるのか…



おひさまプロジェクトの始まりは、温暖化や自然エネルギー、おひさま発電所についての勉強会から…事業所スタッフときょうとグリーンファンドスタッフが一緒に学びました。



イサク事業所のメンバーが手作りでしたぼんぼりが灯りました。いろいろどりの「おひさま電気」です。思わず、「ピース！」ですね。



これが、「イサクおひさま発電所」3階の屋上に設置された63枚の太陽電池。日あたりはこの上なく良さそうなので、20年以上にわたって、しっかり発電してくれるでしょう。

点灯式



いよいよ点灯式。「おひさま電気」のお披露目です。設備は、この建物の屋上に並んでいます。



「実は、私たちの活動が原因となって気候の変動が激しくなっています。」とどんどん熱くなっていく地球のシミュレーション動画に、思わずどきどきしました。京都府地球温暖化防止活動推進センター木原さんの内容の濃いミニ講座。「まだまだ、これからもおひさま発電所を…」と気持ちが入ります。



「私たちは限りある資源を有効に使います。」  
「ゴミの分別を徹底します。」  
「電気をこまめに消します。」  
とエコ宣言。  
みんなで気をつけて、さらにエコ施設をめざします。

発電所の看板もでき上がりました。「イサクおひさま発電所」の看板は、1階のOrganic Shop「床の宿 Rigoletto」に掲げられ、毎月の発電量もお知らせすることになっています。お店を訪れる多くの人々の話題になると楽しいですね。



点灯式の参加者みんなで、記念撮影。晴れやかな顔、顔、顔。知らず知らず太陽のパワーを感じているようですね。

就労支援

どんな仕事がしたいかなど、面談を通して明確にしていきます。



それぞれの目標にむけて頑張っています！

イサク事業所 どうぼうの家 コヘレト農園について

『あなたの〇〇たい。をかたちに・・・』

かた Rigoletto

「美味しい。」と言ってもらえるのがとてもうれしいです。



一つひとつ「丁寧」を心がけて。



美味しいランチはいかがですか？



無農薬の旬の野菜や食品添加物等を一切使用しない加工品の製造・販売もしています。

放課後ササエズ COCO

障害のある小学1年生から高校3年生までの放課後に療育を行う場所です。

笑って帰れる「心」、人を好きになれる「心」、心が繋がる「心」そんな場所を目指して活動しています。



コヘレト農園

原木シイタケや季節の野菜、お米などを作っています。



シイタケは森林の整備から行います。



「大きくなれよ！」と思いを込めて。



たくさん収穫できたよ!!